



震災の教訓を共有し活かす／

# 災害と食に関する パネルディスカッション

## —災害と食に関する情報発信—

未曾有の大災害であった東日本大震災から2年。  
数々の災害現場で実際に体験したパネリストたちが、  
「災害時の食」に関して情報発信!!

健康博覧会  
入場者は  
**無料!!**

■主催：新潟県／(一社)健康ビジネス協議会／UBMメディア(株)

開催  
日時

2013年3月14日(木)  
10:30~12:30

会場

東京ビッグサイト  
(健康博覧会メインステージにて)  
東京都江東区有明3-11-1

P a n e l d i s c u s s i o n

# 健康博覧会

Tokyo Health Industry Show 2013

主催:UBMメディア(株)

開催  
日時

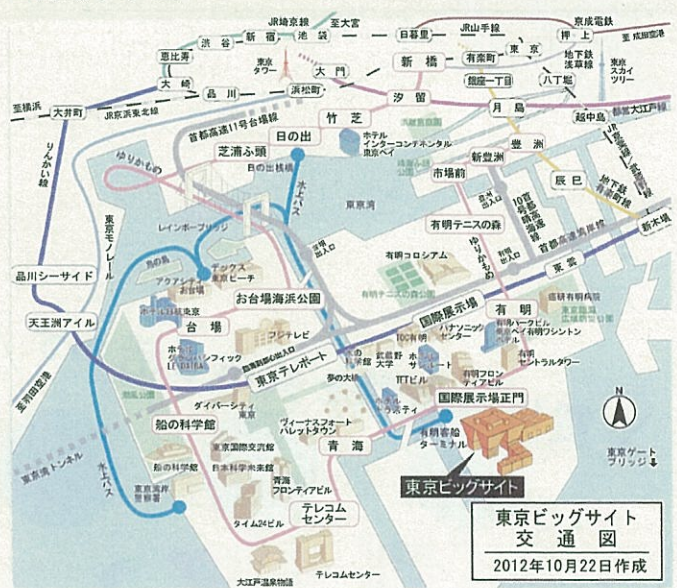
2013年  
3月13日(水)~15日(金)  
10:00~17:00

会場

東京ビッグサイト  
東4・5・6ホール  
東京都江東区有明3-11-1

国内外から500社ほどが出展し、国内最大級の健康産業BtoB商談展。今年は、31回目の開催!! 7つの専門展示会を一堂に集め開催され30年の実績と成長を是非会場で!!

## ■会場アクセス



東京ビッグサイト  
交通図  
2012年10月22日作成

## ■パネルディスカッション概要

# 災害対策 — 震災の教訓を共有し活かす —

D-21 聴講無料

3/14(木)10:30▶12:30

## 特別パネルディスカッション 災害時での食、健康産業に期待される役割

未曾有の大災害であった東日本大震災から2年が経った。その後も災害が起き、首都圏では首都直下型地震のリスクが語られ、停電等を含めれば避難所等で暮らさなければならない可能性は高まっており、行政、企業、地域社会、家庭における災害への備えや対応が問われている。しかし現状では食の備えは十分とは言えない。例えば、東日本大震災では避難所での野菜不足が深刻化し、避難所ではサプリメントの果たす役割が再認識された。避難所に集まる住民だけでなく、避難者を助ける人たちにも食の備えは必要である。腎臓病患者への食は一般の人たちとは異なるが患者は外から見たのでは分からないので避難所での食の提供は困難を極める。阪神淡路大震災、中越大震災、中越沖地震、東日本大震災と大きな災害に係った関係者が、災害時に食の分野で何が起きたか、何が不足しているのかを報告し、健康産業に係る企業にこの分野への参画を呼び掛ける。

### 【基調レポート】

### 【発表】

### 【討論】

災害時における  
サプリメントが  
果たした役割

東日本大震災での  
体験から(仮)

(財)船員保険会  
せんぼ東京高輪病院  
栄養管理室長  
足立 香代子氏



災害時の  
食のマネジメント

中越大震災の  
体験から

新潟大学大学院客員教授  
(株)ホリカフーズ  
取締役  
別府 茂氏



災害時における  
腎不全患者への  
食供給の問題点

中越大地震、  
東日本大震災の体験から

NPO法人米ニケーション  
事務局長  
(有)エコライズ新潟  
豊永 有氏



0次の備え、  
非常持ち出し品に  
おける食の  
考え方(仮)

阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センター  
事業部運営課 企画ディレクター  
平林 英二氏



コーディネーター

新潟県 産業労働観光部 参与  
(一社)健康ビジネス協議会  
事業戦略ディレクター  
河合 雅樹氏



## ■お問い合わせ

一般社団法人  
健康ビジネス協議会

〒950-0078 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル10階

TEL:025-246-4233 FAX:025-246-0033

E-mail:kenbikyoun-owner@yahoo.co.jp http://kenbikyoun.jp/